

令和3年度 地方公共団体における効果的な熱中症予防対策の推進に係るモデル事業

福岡市

令和3年11月10日
中間報告会②

福岡市 地域の特徴及び熱中症対策における課題

地域の特徴

《 福岡市について 》

- 市域面積：約 343 km² ○ 人口：約 160 万人
- 博多湾を取り囲むように市街地が広がっており、その中心に都心部が位置する。脊振・三郡山系などの市街地の背景となる山並み、そこから市街地に伸びる森林、博多湾の島々や海岸線、山並みと博多湾を結ぶ河川など、自然を身近に感じられる。

《 福岡市の気象状況について 》

- 低緯度で内湾に面しているため、夏季は昼夜を問わず暑さが厳しい。
- 6月から真夏日（30℃以上）が観測され、7月から9月にかけて猛暑日（35℃以上）が散見される。
猛暑日の観測日数は平年値で8.1日（1991-2020年 平年値）と増加傾向である（1981-2010年 平年値5.5日）。
- ヒートアイランド現象も顕著で、平年の熱帯夜（夜間の最低気温25℃以上）の観測日数は平年値で38.7日（1991～2020年 平年値）と1か月以上にも及ぶ。

熱中症対策における課題

◎ 急な気温上昇や猛暑日が続く等、気象状況が厳しくなると救急搬送者数が急増する

→ 令和2年8月の月平均気温は30.2℃と過去10年間で最高で、暑さ指数も8月12日から14日連続で「危険」となり、8月の救急搬送者数は年間の救急搬送者数の約7割を占めていた。

◎ 高齢者（特に75歳以上）の熱中症による救急搬送割合が高い

→ 令和2年度の年齢層別救急搬送割合は高齢者（65歳以上）が約54%を占めていた。
特に、後期高齢者（75歳以上）については、年齢層別人口割合（約11%）に対して、年齢層別救急搬送割合が約37%であり、他の年齢層と比較して顕著に高かった。

福岡市 モデル事業概要（1）

事業タイトル：アプリによる市民への注意喚起と行動の促し

○ 福岡市LINE公式アカウントを活用した暑さ指数情報配信の改善

→ LINEによる暑さ指数情報を高齢者にも分かりやすいデザインに変更するとともに、給水スポット位置情報やアイカサの無料クーポンを配信し、市民に水分補給や日傘利用を促すことで、熱中症予防行動に繋げる。

○ ウォーキング・アプリ「ふくおか散歩」を活用した暑さ指数情報の配信

→ 暑さ指数情報を経時的に確認できるようにシステムを改修し、アプリユーザーに熱中症注意喚起を行うとともに、給水スポット位置情報を配信し、市民に水分補給等の熱中症予防行動を促す。

共同実施者	役割
モバイルズ株式会社	福岡市LINE公式アカウント（暑さ指数情報）の改修
株式会社Nature Innovation Group	傘シェアリングサービス「アイカサ」の無料貸出サービスの実施
株式会社西日本新聞社	ウォーキング・アプリ「ふくおか散歩」による熱中症情報の発信
株式会社パスコ	給水スポット位置情報図の作成

本事業における指標（KPI）

- LINE（暑さ指数情報）：登録者数 65,000人（R3.5 現在 約57,000人）
- ふくおか散歩：登録者数 45,000人（R3.5 現在 約38,000人）
- 暑さ指数情報が予防行動に役に立った割合（アンケート結果）：70%
- アイカサ、給水スポットの利用割合（アンケート結果）：10%

福岡市 モデル事業概要（2）

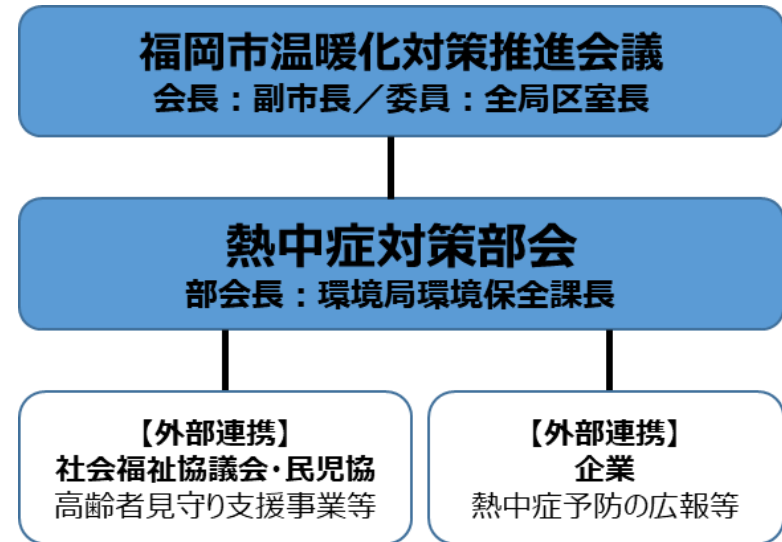
連携体制

【内部体制】

- 福岡市温暖化対策推進会議の下に、**熱中症対策部会**を設置し、熱中症対策を検討（部会員：市民局防災企画課長、こども未来局総務課長、保健福祉局保健予防課長、区総務担当課長、消防局救急課長、教育委員会健康教育課長）。
- 熱中症対策を総合的に推進し、市民の健康被害防止を目的として策定した「**熱中症対策方針**」の下、毎年「**熱中症対策推進計画**」を作成し、福岡市温暖化対策推進会議で全ての局区室へ当該年度の具体的な取組みを共有し、全庁一丸となって各種施策に取り組む。
- 情報共有や協議のため、推進会議を年1回、部会会議を年2回開催している。

【外部連携】

- 本市では、対象別（一般市民・高齢者・子ども・労働者）に熱中症対策に取り組んでおり、高齢者向け施策では、社会福祉協議会の協力の下、高齢者見守り支援事業を行う等、外部機関との連携を図っている。



継続的に熱中症対策に取り組むための総合的な計画の策定

「熱中症対策方針」の下、「熱中症対策推進計画」を年度ごとに作成し、全庁を挙げて熱中症対策に取り組んでおり、必要に応じて外部関係機関との連携も図っている。

令和4年度以降も引き続き、同方針に基づき推進計画を作成し、熱中症対策に取り組む。

福岡市 モデル事業における熱中症リスク評価及び事業実施内容

熱中症リスクの評価

暑さ指数（WBGT）データと合わせて、本市消防局から提供される熱中症救急搬送データを基に、年齢別、場所別、症状別等の傾向について解析する。

事業1 福岡市LINE公式アカウントを活用した暑さ指数情報配信の改善

① 暑さ指数情報のデザイン変更

本市では、福岡市LINE公式アカウント及び防災メールにより暑さ指数31以上で注意喚起の発信を行っているが、防災メールで配信している注意喚起の文面が転用されるため文字情報に限られ、LINEの特性に合った仕様となっていない。高齢者も見据えた分かりやすい情報発信とするためにも、情報提供画面のデザインを変更する。

② 給水スポット位置情報の案内

本市が運用する「福岡市Webまっぷ」で給水スポットの位置情報が確認できるように既存システムを改修し、暑さ指数31以上の予測時に、給水スポット位置情報を案内することで、市民に水分補給を促す。

③ 傘のシェアリングサービス（アイカサ）の無料クーポン配信

傘のシェアリングサービス（アイカサ）を実施している民間事業者と連携し、暑さ指数31以上の予測時に、傘の無料クーポンを配信し、日傘の活用を推進する。

事業2 ウォーキング・アプリ「ふくおか散歩」を活用した暑さ指数情報の配信

福岡市の注意喚起情報や暑さ指数情報が時間単位で確認できるように、ウォーキング・アプリ「ふくおか散歩」※のシステムを改修し、アプリユーザーに熱中症注意喚起を行うとともに、給水スポット位置情報を配信し、ユーザーに水分補給等の熱中症予防行動を促す。

※日常のウォーキングにより健康ポイントが付与され、ポイントが貯まるとお得な特典が受けられる健康アプリ（令和元年度に人生100年時代を見据えた持続可能な社会を作るプロジェクト「福岡100」の取組の一つとして採用されたウォーキング促進の実証事業）

福岡市 モデル事業における熱中症リスク評価結果

令和3年度 熱中症リスクの評価結果（年齢別）

気象状況：暑さ指数実測値 31以上20回（うち33以上0回） 昨年度比較：31以上28回（うち33以上5回）

→ 環境省熱中症予防情報サイト 暑さ指数配信期間：R3（4/28～10/27）、R2（4/17～10/30）

- ◎ 救急搬送者数：**468人** 昨年度比較：約**1割以上減少**（R2nd：532人）…図1
- ◎ うち高齢者(65歳以上)：**229人** 昨年度比較：約**2割減少**（R2nd：285人）…図2
- ◎ うち後期高齢者(75歳以上)：**146人** 昨年度比較：約**3割減少**（R2nd：199人）…図2
後期高齢者は、年齢層別人口割合（11%）と比較し年齢層別救急搬送割合が高い（**31%**）

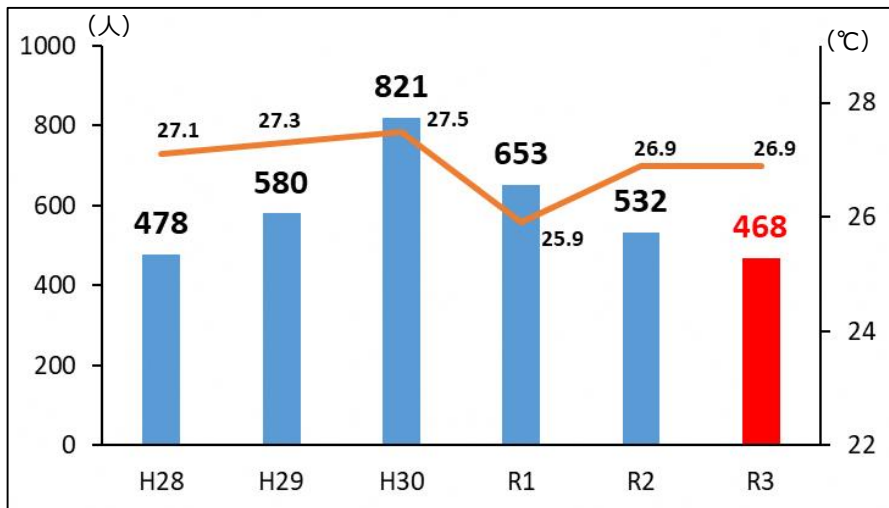


図1 救急搬送者数及び夏（6～8月）の平均気温の推移

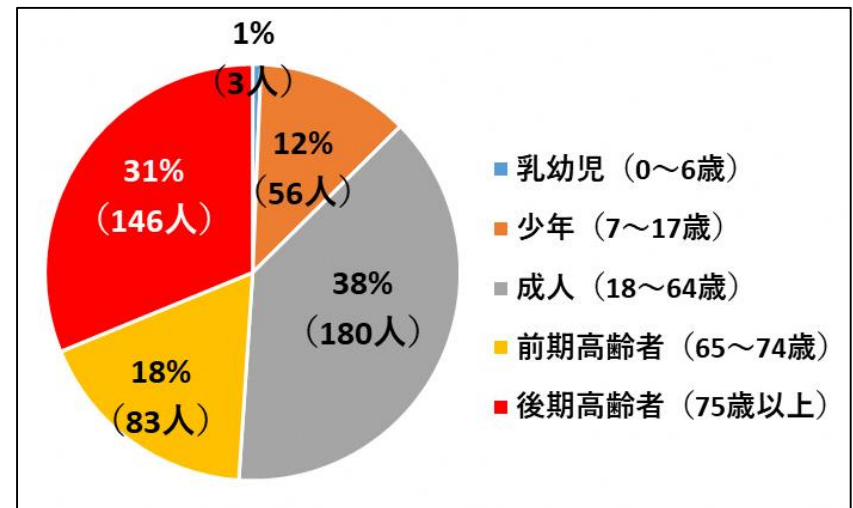


図2 年齢層別救急搬送割合（R3）

福岡市 モデル事業における熱中症リスク評価結果

令和3年度 熱中症リスクの評価結果（場所別、症状別）

- ◎ 救急搬送された場所：**住居が169人（36%）**と最も多い（R2nd：224人）
次いで公衆、道路、仕事場の順であった…図3
- ◎ 症状：**重症は1人** 昨年度比較：**3人減少**（R2nd：4人）
軽症257人（約55%）と中等症210人（約45%）であった…図4

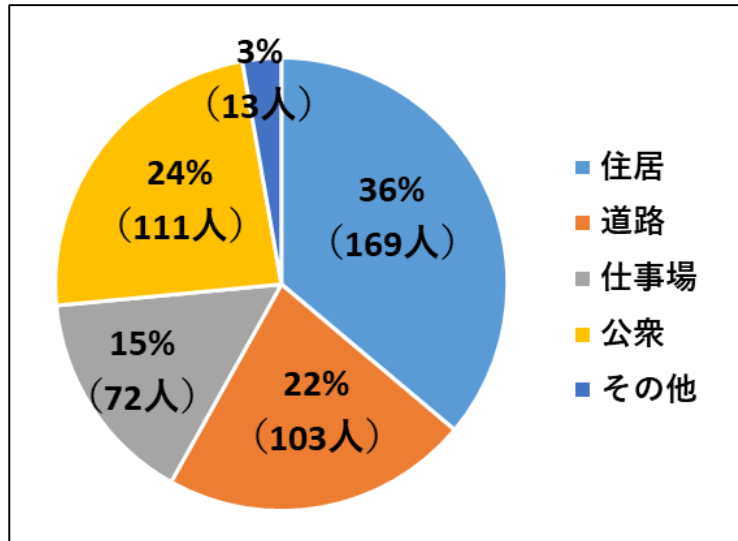


図3 場所別搬送割合（R3）

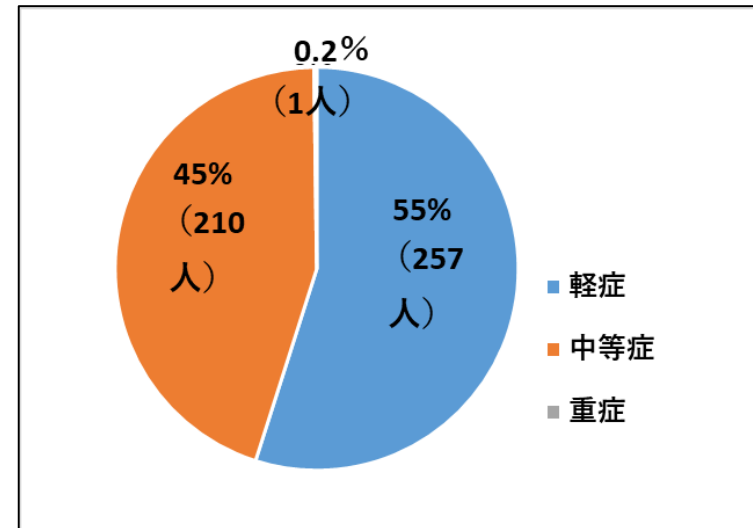


図4 症状別搬送割合（R3）

福岡市 モデル事業実施結果

事業1 福岡市LINE公式アカウントを活用した暑さ指数情報配信の改善 《実施内容》

LINEの通知（暑さ指数情報）を視覚的に分かりやすいデザインに変更

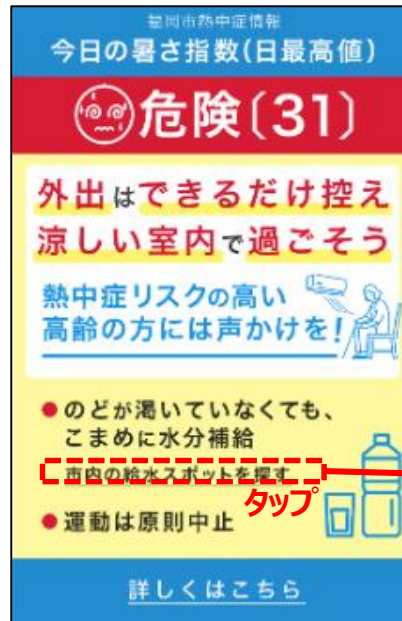
- ① 熱中症リスクが高いと予測された日（暑さ指数最高予測値31以上）の前日、ならびに当日に配信
- ② ①を通知の際にアイカサ無料クーポン配信（当日のみ）、画面タップで給水スポット位置情報に遷移
- ③ 救急搬送者数が急増する7月頃に福岡市LINE友だち全員に熱中症注意喚起のメッセージを配信（暑さ指数情報の受信設定をしていない市民に対して設定を促す通知も付加）

【変更前】



暑さ指数情報

【変更後】



①暑さ指数情報

NEW



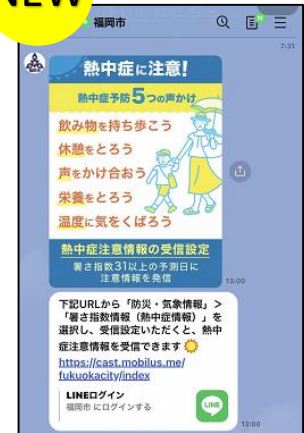
②アイカサ無料クーポン配信

NEW



②給水スポット位置情報

NEW



③登録者宛てメッセージ

福岡市 モデル事業実施結果

事業1 福岡市LINE公式アカウントを活用した暑さ指数情報配信の改善 《広報》

福岡市LINE公式アカウント改修後に本市のプレスリリース（梅雨明け後の注意喚起を促すもの）、福岡市熱中症情報ホームページ、各種SNSを活用して、当事業に関する広報を実施した。

Press Release 熱中症にご用心! 福岡市環境局

福岡市政担当記者各位 令和3年7月13日

梅雨明け後の熱中症にご注意を!

熱中症による救急搬送は梅雨明け後に急増します。

昨年の救急搬送の7割以上が梅雨明け以降に発生。特に梅雨明け直後は、蒸気が続き、体がまだ暑さに慣れないため、細心の注意が必要です。ついでに、引き続き熱中症予防に関する広報にご協力をお願いします。

梅雨明け後の熱中症予防行動

- ★ 暑さを避ける
 - ・気温が高い時間帯は外出をなるべく控え、室内ではエアコンを使用
 - ・外出する場合は日傘や帽子を活用
- ★ 適宜マスクを外す
 - ・屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合は適宜マスクを外す
 - ・マスク着用時は激しい運動は避ける
- ★ 高齢の方などへの声かけ
 - ・暑さやどの場さを感じにくい高齢の方には身近な方からエアコンの使用等の声かけを

NEW 暑さ指数の分かりやすさを分かりやすく便利に!

高齢の方にも見やすいデザイン変更

暑い日に傘を無料で貸し出し

暑さ指数31以上の予測時にアイカサの無料クーポンを贈呈（今年のみ）

自傘として活用!

福岡市LINE公式アカウント

【子連れ合せ】福岡市環境化推進委員会 熱中症対策部会事務局（事後関係者情報部連絡先） 担当 渡部 彰山 電話：733-5385（内線：2420）

プレスリリース

日傘やマイボトルで熱中症予防（令和3年8月6日更新）

8月に入り、福岡市内は暑さ指数31以上（評価：危険）の日が続き、8月の熱中症による救急搬送者数は5日間で50名を超えています。本日の最高気温は36℃の予報が出ています。暑さを避け涼しい屋内で過ごしましょう。また、外出する際には帽子や日傘を利用し、マイボトルを携帯してこまめに水分補給をしましょう!

福岡市内の駅や商業施設等に設置のアイカサ（傘のシェアリング・サービス）は日傘としても利用できます。暑さ指数31以上の日は無料クーポンが利用できますので、ぜひ活用ください。アイカサの無料クーポンについて、詳しくは[こちら](#)

ホームページ

福岡市広報戦略室 @Fukuoka... · 1時間 ···

#熱中症 を予防しよう! vol.7 ☀️

8月の熱中症救急搬送者数は既に50人を超えています!

熱中症予防を心がけ、のどが渴いていなくてもこまめに水分補給をし、涼しい屋内で過ごしましょう。

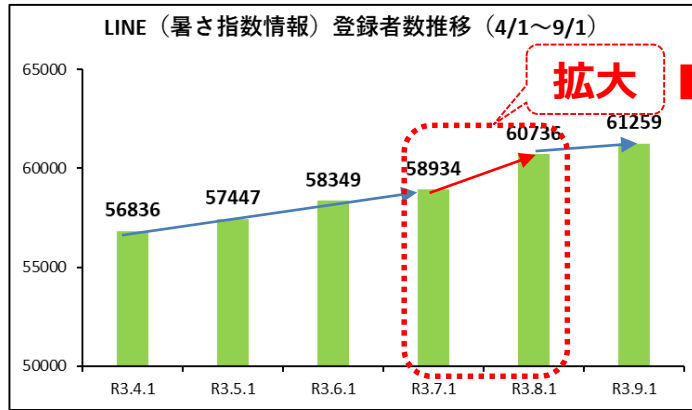
日傘☂️の利用は直射日光を避けることができ、熱中症予防に効果的です。

heatstroke.city.fukuoka.lg.jp/torikumii/

Twitter

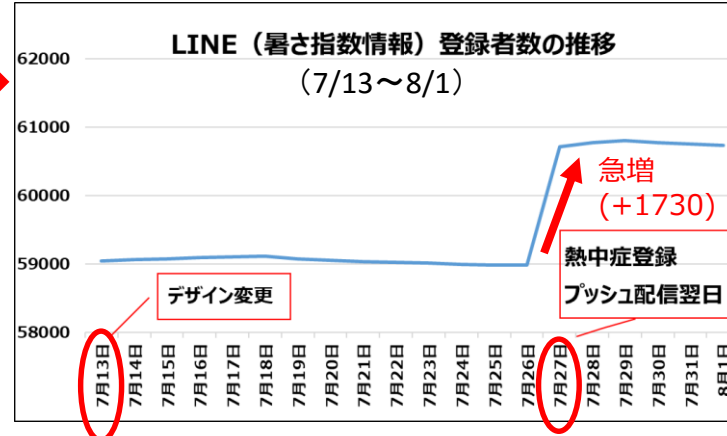
福岡市 モデル事業実施結果

事業1 福岡市LINE公式アカウントを活用した暑さ指数情報配信の改善 《登録者数の推移》



LINE（暑さ指数情報）登録者数
昨年度末と比較して、**4,423人 増加**

LINEで情報入手する市民が
増加している



事業開始後のLINE（暑さ指数情報）登録者数推移
事業開始前と比較して、**2,208人 増加**

特に、7/26実施の**福岡市LINE友だち全員※**への
メッセージ配信は登録者数の増に寄与した
※暑さ指数情報の受信設定をしていない市民も含む



7/26 配信

福岡市 モデル事業実施結果

事業1 福岡市LINE公式アカウントを活用した暑さ指数情報配信の改善 《アンケート結果①》

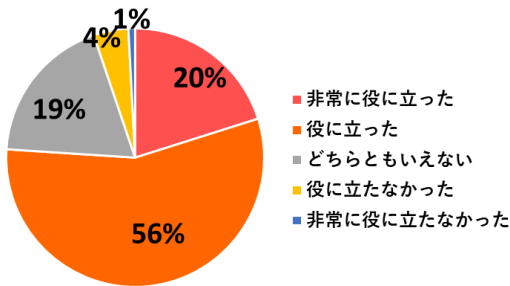
LINE上でアンケートを実施

回答者数 4,405人



朝からLINEがくると、「より水分補給をしっかりとしよう」となりました

Q. 暑さ指数のメッセージは役に立ちましたか？

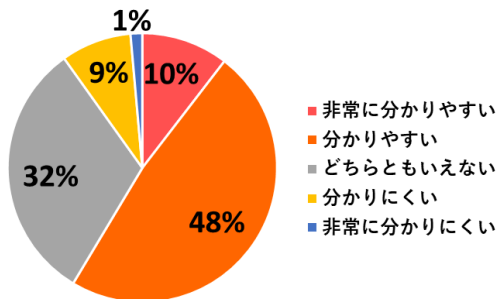


	人数	割合
非常に役に立った	887人	20.1%
役に立った	2,462人	55.9%
どちらとも言えない	827人	18.8%
役に立たなかった	192人	4.4%
非常に役に立たなかった	37人	0.8%

暑さ指数のメッセージが「非常に役に立った」「役に立った」

76%

Q. 内容は分かりやすかったですか？



	人数	割合
非常に分かりやすい	460人	10.4%
分かりやすい	2,121人	48.1%
どちらとも言えない	1,389人	31.5%
分かりにくい	373人	8.5%
非常に分かりにくい	62人	1.4%

大事な情報だけが一画面に収まり、1番重要な指数の数字が見た瞬間にパッと目に入るのが、すごく良いです

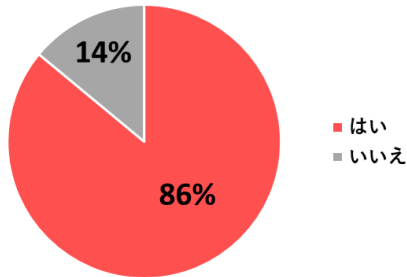
情報提供内容が「非常に分かりやすい」「分かりやすい」

59%

福岡市 モデル事業実施結果

事業1 福岡市LINE公式アカウントを活用した暑さ指数情報配信の改善 《アンケート結果②》

Q. 今後もLINEで暑さ指数のメッセージを受け取りたいですか？

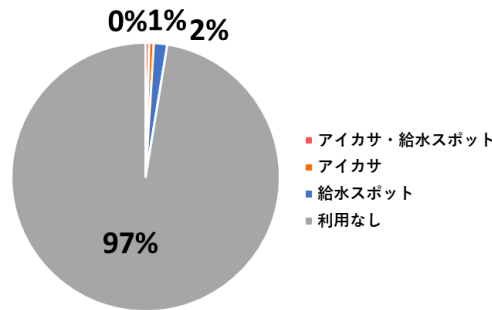


	人数	割合
はい	3,789人	86.0%
いいえ	616人	14.0%

「今後もLINEで暑さ指数のメッセージを受け取りたい」

86%

Q. アイカサクーポン・給水スポットは利用しましたか？



	人数	割合
アイカサクーポン、 給水スポットともに利用	19人	0.4%
アイカサクーポンのみ利用	24人	0.5%
給水スポットのみ利用	71人	1.6%
いずれも利用なし	4291人	97.4%

アイカサクーポン・給水スポット
利用割合

3%

Q.改善してほしい点や要望

- ・ 暑さ指数の数字の意味が分からない
- ・ アイカサは毎日通知しなくて良い
- ・ 毎日通知が来るので危機意識が薄れる
- ・ 暑さ指数が気温と混同しやすく分かりにくい

福岡市 モデル事業実施結果

事業2 ウォーキング・アプリ「ふくおか散歩」を活用した暑さ指数情報の配信 《実施内容》

「ふくおか散歩」ホーム画面に熱中症警戒レベルを表示、画面（矢印の箇所）タップで

① 予防行動 ② 暑さ指数予測情報 ③ 給水スポット位置情報案内 が確認できる。



① 熱中症警戒レベルに応じた
予防行動



ホーム画面



② 暑さ指数予測情報



③ 給水スポット位置情報

福岡市 モデル事業実施結果

事業2 ウォーキング・アプリ「ふくおか散歩」を活用した暑さ指数情報の配信 《広報》

「ふくおか散歩」改修後に本市のプレスリリース（梅雨時期の注意喚起を促すもの）、新聞広告、福岡市熱中症情報ホームページ、各種SNSを活用して、当事業に関する広報を実施した。

Press Release

熱中症にご用心!
福岡市環境局

福岡市政担当記者各位

令和3年6月22日

梅雨時期にも熱中症予防行動を!

体が暑さに慣れていない時期に、急に気温が高くなると熱中症のリスクが高まります。

下記の熱中症予防行動に関する広報にご協力をお願いします。

★ 定期的に気温や暑さ指数に気を配る

HP・LINE・防災メールで暑さ指数を確認

★ 暑い日はエアコンを使用

特に高齢者は暑さや喉の渇きを感じにくい
ため、**周囲の声かけ**が重要

★ のどが潤いていなくてもこまめな水分補給

1日あたり1.2Lを目安

夏一番を迎える前に

軽く汗をかく**適度な運動習慣**を

適度：「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度

熱中症予防にアプリや給水スポットを活用

＝ウォーキングアプリの活用＝

「ふくおか散歩」※で熱中症予防に役立つ情報が確認できるようになりました。

① 暑さ指数が確認できる

② 給水スポットが確認できる

熱中症予防をしながら、ウォーキングで日頃から汗をかく習慣を身に付けましょう。

※健康や体力づくりを支援する健康アプリ

＝給水スポットの活用＝

公共施設にマイボトル用の給水スポットを設置しました。

【設置場所】
博多区を除く6区役所
福岡市科学館
福岡市植物園

注ぎ口は感染対策に配慮した非接触型!

マイボトル利用はペットボトルごみの削減にも!

プレスリリース

登録者**3万9000人**実績!!

「発生しやすい」を知り
熱中症予防のアクション

「ふくおか散歩」の新機能!

「ふくおか散歩」アプリが新機能を搭載。ホーム画面に「熱中症警戒レベル」をホーム画面に表示

「ふくおか散歩」アプリが新機能を搭載。ホーム画面に「福岡市の熱中症警戒レベル」を表示できるようになりました。暑さ指数をもとに「危険」「厳重警戒」「警戒」「注意」「気象安全的な状態」の5段階、今の気象状況の一端が分かります。

各アイコンを押すと「活動の目安」「本日これから予想」「給水スポットをマップした「福岡市お出かけ」」を表示します。

2020年度暑熱状況の状況(福岡市)

日平均からの暑熱割合

暑さ指数	割合
30以上	52%
25以上	31%
20以上	1%
15以上	8%
10以上	54%
5以上	36%

熱中症予防対策の推進

50歳以上の高齢者

発生場所は主に住居

多湿な梅雨は、熱中症の発生リスクが非常に高くなる。体調不良の訴えが相次ぎ、重症化も出てきた。梅雨時期は、熱中症の発生リスクが高くなる。梅雨時期は、熱中症の発生リスクが高くなる。梅雨時期は、熱中症の発生リスクが高くなる。

「ふくおか散歩」

市役所に注意喚起

予防行動を促す取り組み

福岡市では、2017年に「熱中症対策」を実施。2020年度は、熱中症の発生状況を把握し、予防行動を促す取り組みを実施した。2020年度は、熱中症の発生状況を把握し、予防行動を促す取り組みを実施した。

熱中症予防「ふくおか散歩」開始

7月12日 12:00～

何度でもチャレンジOK!

100ポイント+1回送付

ポイントがある方が何度も挑戦できます。

- A賞 今年ハンズタオル 5人
- B賞 QUORAカード(1000円分) 5人
- C賞 Mizumizu アイスタオル 3枚入り2重型2枚 16人

【ふくおか散歩参加方法】

「ふくおか散歩」アプリをダウンロードし、登録完了後、アプリを起動して「参加」を選択してください。

福岡市の熱中症対策(2021年度)

「ふくおか散歩」アプリで注意喚起

シェアリングサービス「アイカサ」の日報利用

福岡市の熱中症対策を推進するため、2021年度は「ふくおか散歩」アプリを活用し、暑さ指数情報を配信し、予防行動を促す取り組みを実施します。

福岡市公式「LINE」で「防災メール」で情報配信

登録者3万9000人実績!!

福岡市公式「LINE」で「防災メール」で情報配信

登録者3万9000人実績!!

福岡市公式「LINE」で「防災メール」で情報配信

(株)西日本新聞社 紙面特集記事

福岡市 モデル事業実施結果

事業2 ウォーキング・アプリ「ふくおか散歩」を活用した暑さ指数情報の配信 《アンケート結果①》

アプリ上でアンケートを実施

回答者数 **1,544人**

2021年09月16日

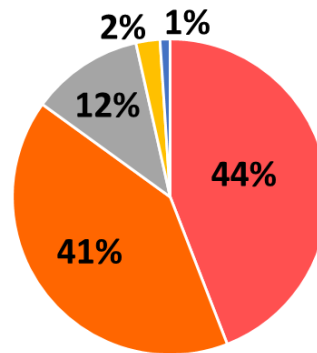
【事務局よりお知らせ】熱中症対策事業アンケートのご協力で500pt進呈

9/16～23の間、【ミッション】で福岡市熱中症対策事業に関するアンケートを実施中です。ご回答いただいた皆様には、後日事務局より500ptを付与させていただきます。皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

Q. 熱中症情報は熱中症予防に役立ちましたか？

毎日アプリを開く事で警戒レベルが分かって水分摂取を心がけるようになった

	人数	割合
役に立った	681人	44.1%
少し役に立った	631人	40.9%
どちらとも言えない	178人	11.5%
あまり役に立たなかった	38人	2.5%
まったく役に立たなかった	16人	1.0%



- 役に立った
- 少し役に立った
- どちらとも言えない
- あまり役に立たなかった
- まったく役に立たなかった

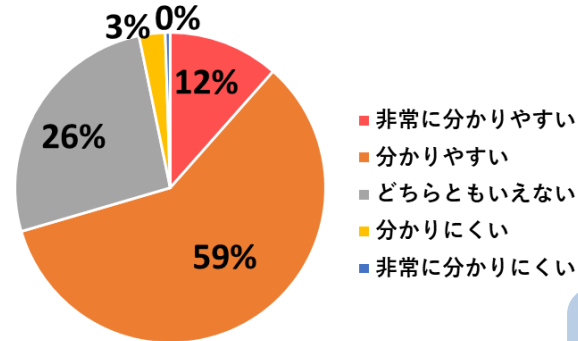
熱中症情報が「役に立った」「少し役に立った」
85%

福岡市 モデル事業実施結果

事業2 ウォーキング・アプリ「ふくおか散歩」を活用した暑さ指数情報の配信 《アンケート結果②》

Q. 内容は分かりやすかったですか？

	人数	割合
非常に分かりやすい	178人	11.5%
分かりやすい	910人	58.9%
どちらとも言えない	406人	26.3%
分かりにくい	42人	2.7%
非常に分かりにくい	8人	0.5%



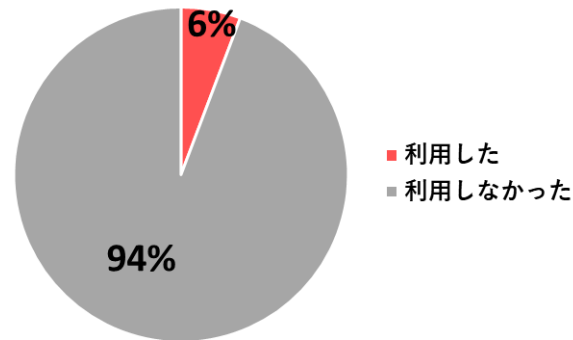
内容が
「非常に分かりやすい」
「分かりやすい」

70%

絵や色が万人向けで
印象的に理解しやすい
と
感じました

Q. 給水スポットを利用しましたか？

	人数	割合
利用した	89人	5.8%
利用しなかった	1,455人	94.2%



給水スポットを
「利用した」

6%

Q.改善してほしい点や要望

- ・ 画面の分かりやすい説明が欲しい
- ・ マップが見つらなかった
- ・ タップできることを後になって知った
- ・ 気温と湿度の情報もあると良い

福岡市 モデル事業におけるまとめ

本事業における指標（KPI）

- ✓ LINE（暑さ指数情報）：登録者数 65,000人（R3.5現在 約57,000人）
- ✓ ふくおか散歩：登録者数 45,000人（R3.5 現在 約38,000人）
- ✓ 暑さ指数情報が予防行動に役にたった割合（アンケート結果）：70%
- ✓ アイカサ、給水スポットの利用割合（アンケート結果）：10%

指標（KPI）に対する現状の結果

- ✓ LINE（暑さ指数情報）：登録者数 **61,259人**（令和3年9月1日 現在）
- ✓ ふくおか散歩：登録者数 **39,973人**（令和3年8月31日 現在）
- ✓ 暑さ指数情報が予防行動に役にたった割合（アンケート結果）：「**LINE 76%**」「**ふくおか散歩 85%**」
- ✓ アイカサ、給水スポットの利用割合（アンケート結果）：「**LINE 3%**」「**ふくおか散歩（給水スポットのみ）6%**」

本事業を通して得られた事

- ✓ LINE（暑さ指数情報）及びふくおか散歩の登録者数が着実に増加し、多くの市民に注意喚起・啓発を実施できた。
- ✓ 暑さ指数情報が予防行動に役に立ったと回答した人がLINEで7割以上、ふくおか散歩で8割以上おり、アプリを活用した暑さ指数情報配信について、概ね良好な評価を得た。
- ✓ 給水スポットやアイカサに限らず、水分補給や日傘利用等の予防行動について、今後も引き続き、様々な機会を捉えて広報を実施し、市民の予防行動を促進することが必要である。

福岡市 熱中症警戒アラート・暑さ指数 (WBGT) に関する取組み (1)

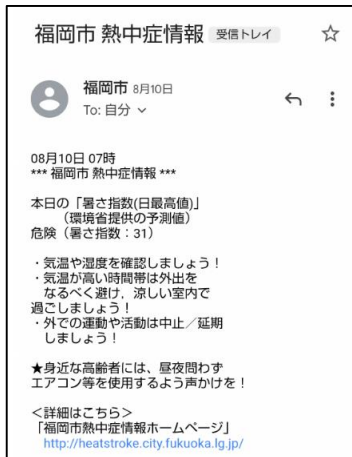
暑さ指数に関する従来からの取組み

○ 防災メール (H23～)、LINE (H29～)、ホームページ (H26～) で「暑さ指数予測情報」を提供

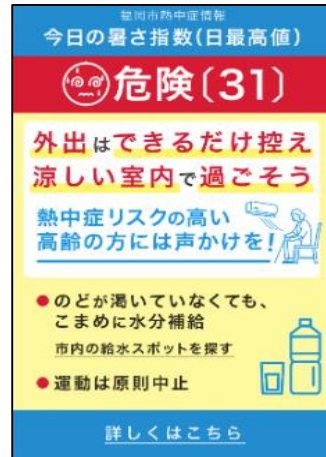
防災メール・LINE：日最大暑さ指数の予測値が**31以上**となる場合、前日17時半と当日7時半に配信

※ 防災メール登録者数 33,006人 (R3.8.31時点) LINE登録者数 61,259人 (R3.9.1時点)

ホームページ：当日の日最大暑さ指数の予測値を表示 (前日18時以降は翌日の日最大暑さ指数を表示)



防災メール



LINE



ホームページ

○ 市民への周知

防災メールやLINEへの登録、暑さ指数の活用については
市政だより、リーフレット等の啓発物、プレスリリースで実施



市政だより



熱中症予防リーフレット

福岡市 熱中症警戒アラート・暑さ指数 (WBGT) に関する取組み (2)

熱中症警戒アラートの運用開始を受けた取組み

○ 市の熱中症情報ホームページを改修

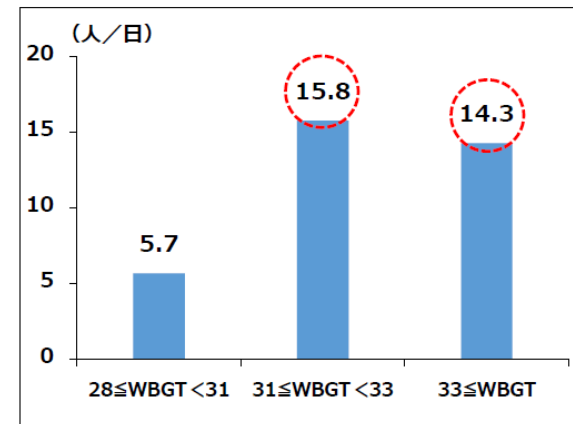
アラート発令時は、予防行動も含めた注意喚起を記載



○ 暑さ指数予測情報の活用を庁内に依頼 (R3.2)

各所属に以下を共有

- ・熱中症警戒アラート (暑さ指数33以上) 受信方法
- ・防災メール・LINE (暑さ指数31以上) の受信方法
- ・福岡市における「暑さ指数」と「救急搬送者数」の関係



「暑さ指数」と「救急搬送者数」の関係 (福岡市、H30～R2平均)

<令和3年度の活用状況> 各所属において以下のとおり活用されている。

- ◆ 夏季イベントの実施可否判断や注意喚起
 - ◆ 学校における熱中症対策の実施判断
 - ◆ 屋外運動施設利用者への注意喚起
 - ◆ 保育所の屋外活動の実施可否判断や注意喚起
 - ◆ 校庭開放事業の実施可否判断
 - ◆ 局内職員への周知
- など

福岡市 参考資料：モデル事業実施スケジュール

	令和3年									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
事業全体	<ul style="list-style-type: none"> ● 請負業者（環境省契約）ほか共同実施者間との打合せ ● 環境省に中間報告書を提出 ● 環境省に最終報告書を提出 									
熱中症リスクの評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 熱中症リスク評価開始（救急搬送者数、暑さ指数（WBGT）等の各種データどり） ● リスク評価の検証 									
令和3年度に実施・試行する事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種システム開発着手 ● 「ふくおか散歩」での熱中症情報掲載サービススタート（6/22～10/27） ● LINEでの注意喚起通知/アिकास利用促進通知 開始（7/13～10/27） ● アプリユーザーへのアンケート実施（LINE、ふくおか散歩） ● モデル事業の検証 									
熱中症対策に取り組むための総合的計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ● 「福岡市熱中症対策方針」改訂 ● 「令和3年度熱中症対策推進計画」策定 									
地方公共団体内外の関係者との連携による熱中症対策実施のための体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ● 「令和3年度第1回熱中症対策部会」開催 ● 福岡市社会福祉協議会に高齢者向けチラシ配布の依頼 ● 「令和3年度福岡市温暖化対策推進会議」開催 ● 全庁内に熱中症対策の推進依頼 ● 福岡ソフトバンクホークス（株）との包括連携協定→PayPayドームのビジョンで熱中症予防啓発動画を放映 ● 福岡市民児協理事会にて高齢者向けチラシの活用依頼 ● 令和3年度熱中症対策報告書の作成 ● 令和3年度第2回熱中症対策部会の開催 									